

科目名		演習 I (政治学)	
担当教員	丸山正次	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	金曜・2時限	開講年次	1年
到達目標	論文作成のための基本的な方法と、政治学の基本的な概念についての理解を目指す。そして、2年生の論文作成の途中報告を聞きながら、自らの論文テーマを構想していく。		
授業概要	<p>ギリシアの哲学者アリストテレスは、西洋では「万学の祖」とも呼ばれている。というのも、かれは、文学、論理学、倫理学、政治学といった人文・社会科学はもちろん、天文学、気象学、動物学、植物学などの自然科学においても、後世に多大な影響を与える研究を行ったからである。そのアリストテレスは、政治学を「棟梁の学問 master science」と呼んで、あらゆる学問の最高位にあるものとしていた。それはどういうことかということ、政治こそが人間にとって最も善いものを決定する活動であり、他の事柄は、この最高善を実現するための道具だとかれが見ていたからである。</p> <p>このような位置づけがはたして正しいかどうかを簡単に述べることはできないが、政治学の守備範囲が広がることは、間違いのないところである。というのも、政治は人々の社会生活すべてに及ぶ強い影響力をもっているために、政治学では、人間が生きるさまざまな場面についての知識が必要になってくるからである。</p> <p>この演習では、上記のような特徴を持つ政治学の基本的な概念についての理解を追求する。それによって、各人の論文の狙いが明確なものになっていく。古来からの政治哲学を学ぶことが、現代における政治的課題を研究するうえで大いに役にたつはずである。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	政治理論の研究方法		
第2回	人間性論と政治思想		
第3回	政治と政府と国家		
第4回	ガバメントとガバナンス		
第5回	権力と権威		
第6回	主権		
第7回	ネーション		
第8回	2年生の論文経過報告1		
第9回	正統性		
第10回	法と秩序		
第11回	正義		
第12回	権利		
第13回	義務		
第14回	シティズンシップ		
第15回	2年生の論文経過報告2		
第16回	民主主義		
第17回	代表制		
第18回	公共性		
第19回	自由と解放		
第20回	寛容		
第21回	公平性		
第22回	社会的正義と福祉		
第23回	財産		
第24回	1年生の論文構想報告		
第25回	福祉国家		
第26回	改良と革命		
第27回	自然と環境		
第28回	環境倫理		
第29回	共生と持続可能性		
第30回	2年生の論文完成 報告		

準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	指定された文献についての熟読とレジユメの作成。
評価方法・基準 ・講評の方法	レジユメの作成と報告 (50%)、演習成果を示すレポート (50%) 講評については、LMS 等を使って個別に対応する。
テキスト・参考書	テキストは指定しないが、毎回の授業については論文等を指定する。
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	抽象的ではなく、具体的な事案に即して、概念の考察を行う。
学生への メッセージ	政治的事象、とくに基本的な価値観を考察していくので、異なった意見や考えへの『傾聴』姿勢が大事。
授業に参考と なるサイト	演習中に指示する。
関連する画像	
その他・備考	